

## 令和2年度 第1回木更津市図書館協議会 会議録

日時 令和2年10月30日(金) 午後2時～午後3時10分  
会場 木更津市立図書館 大会議室  
出席者 白井弘子委員 村上淑子委員 手塚英美委員 須磨谷幸子委員  
實劔純一郎委員 中原まどか委員 桂 啓之委員  
森田益央館長  
事務局 大宮安雄副館長 平野佐知恵主査 石渡 恵主査

### 概要

#### 令和2年度第1回木更津市図書館協議会

- 1 桂 議長挨拶
- 2 事務局職員紹介
- 3 議題
  - (1) 令和2年度図書館事業計画について  
事務局から説明
  - (2) 図書館の新型コロナウイルス感染防止対策について  
事務局から説明
  - (3) その他  
報告事項
    - ・令和元年度教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
    - ・木更津市生涯学習推進委員の推薦について
    - ・ブックスタート事業の取り組みについて事務局から説明

#### (事務局)

時間となりましたので、令和2年度第1回木更津市図書館協議会を開催いたします。  
開催にあたりまして、館長から一言ご挨拶を申し上げます。よろしく願いいたします。

#### (森田館長)

(森田館長 挨拶)

#### (事務局)

本協議会は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例により公開されております。

なお、本日傍聴人はありません。

本日の会議は委員10名中、6名が出席で欠席は、4名でございます。

従いまして、図書館協議会運営規則第4条第1項の規定により、委員の2分の1以上の出席がございますので、本日の会議は成立しております。以上ご報告いたします。

なお、荻野委員、中原委員につきましては、別の会議のため遅刻する旨、連絡がございました。

それでは、まず初めに、桂議長より、ご挨拶をお願いいたします。

#### (桂議長)

(桂議長 挨拶)

#### (事務局)

発言の際はマイクのところに、W i F iのようなマークがありますが、こちらを押していただきますと、システムに録音されますので、よろしくお願いいたします。

本日は1回目の定例会となりますが、議事に入る前に、本日の事務局職員を紹介いたします。

(大宮副館長) 副館長の大宮でございます。2年目になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(石渡主査) 石渡です。

(平野主査) 平野と申します。よろしくお願ひいたします。児童室を担当しております。

**(事務局)**

次に、資料の確認をお願いいたします。

事前に配付させていただきました4点の資料と、本日配付資料の12点です。よろしいでしょうか。それでは、会議に入ります。

今後の進行につきましては、図書館協議会運営規則第2条第3項の規定により桂議長をお願いいたします。

**(桂議長)**

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

先ず初めに議事録署名人名人についてですが、議長の私と委員の代表で務めたいと思います。

前回の会議録につきましては、私と中原委員で確認し署名しました。

今回は、寶劔委員に、お願ひしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

**(寶劔委員 承諾)**

それでは議事に入ります。初めに議題1でございます。

令和2年度図書館事業計画、先ほども言いましたが、半年ほど経っておりますので、もうすでに活動が進められている中を含めて事業計画について、事務局の方より説明をいただきたいと思います。

よろしくお願ひいたします。

**(中原委員到着 着席)**

**(事務局)**

令和2年度事業計画ですが、先ず初めに、事前に配付させていただきました会議資料のうち、令和元年度の事業報告と、事業概要につきましては、前回の協議会で説明いたしました、2月末現在の統計に、新型コロナウイルスの関係で、臨時休館しました3月分を加えたものとなっておりますので、よろしくお願ひいたします。それでは資料1、令和2年度事業計画をご覧ください。

左の方の教育委員会基本方針。社会教育重点目標。重点目標・施策のとおり、今年度につきましても、図書館では、図書館サービスの充実を図って参りますが、重点目標・施策の欄をご覧ください。

施策としまして、(1) 地域の実情に即した図書館運営。(2) 公民館等地域の読書環境の充実。(3) 学校との連携の強化。(4) 魅力ある図書館事業の展開。これらを重点目標として掲げて進めて参ります。

このことは、第2期教育振興基本計画を進めるにあたり、年度計画の中で取り組んでいるものでございます。

各事業の具体的内容は、中段以下の表のとおりでございます。

それぞれ、事業名、対象区分、主な講師、実施期日、実施状況、事業開設の理由とねらい、が記載してあります。事業は、定着しているものが多いわけですが、新型コロナウイルスが蔓延するなか、中止または休止、延期している事業もございます。

感染防止対策を講じながら利用者のニーズや課題を踏まえ、可能な限りより効果的な取り組みができますよう、委員の皆様のご意見を頂戴できればと考えております。

それでは、今年度も半分以上経過しておりますが、事業の実施状況の現状と今後についてなどを中心に、ご説明いたします。1番の図書館協議会から参ります。

先ほどから話されているとおり、例年ですと第1回を7月に開催しておりましたが、今回、この10月まで延期させていただいたところです。なお、次回第2回は、3月を予定しております。

次、2番からですが、おはなし会系です。2おはなし会、3赤ちゃんといっしょのおはなし会、次、4乳児健康診査時ブックスタート事業、5保育園おはなし会、6大人のためのおはなし会でございますが、まず、おはなし会。この図書館で開催するおはなし会は、2番目と3番目です。

このうち、それぞれ年齢で区分けしておりますが、今現在は、中止とありますが休止ですね。休止してお

りまして、ただいま検討中です。一部、この年齢の区分から小学生の分だけ、再開しようと検討してる最中でございます。

次の4番ブックスタート事業ですが、これも同じく3月から6月まで休止いたしました。

7月から再開はいたしましたが、一部再開ということで、読み聞かせはしておりません。資料の配付だけでして、今月まで実施しております。

ただ、先ほど話がありましたが、11月以降は、読み聞かせも実施しようということになっておりますので、その方向で検討しております。

なお、休止していた期間の3月から6月分については、郵送による配付で、件数は321件ございましたが、手元に届けております。

次に5番の保育園おはなし会ですが、図書館の職員が保育園に出向いておはなし会の講師を務めますが、これまで5月中は中止して6月から通常通り再開しております。

一番下の6番大人のためのおはなし会。これも実際は、もっと早くやる場所ですが9月まで延期いたしまして、9月20日に実施、20名の参加がありました。本来、1日のうち2回講演するところですが、1回で実施しております。次回は12月に開催しようと検討しております。

次のページをお願いします。7番絵本講座からです。資料のとおり、12月10日に開催ということで準備しております。

次の8児童文学講座ですが、これも同じく、開催に向けて検討をしております。

次に9番～11番の夏休みの企画系ですが、これは夏休み期間が短縮されたということなどがありましたので、中止ということで、この三つは実施しておりません。

次、12番のボランティア講座、これと、次の13番雑誌と図書のリサイクルフェアは、中止ということにさせていただきます。来年度へ送るという形で考えております。

続きまして、14番企画展示ですが、今ちょうど展示の入れ替え作業をしているところですが、昨日までは、ナイジェリア展ということで、6月開館後、昨日まで展示しておりました。明日からは、視覚障害者資料の展示をいたします。

続きまして、15図書館だより発行事業、16新刊案内発行事業ですが、この辺は通常通り発行しております。

次の、17番からは、講師派遣事業と、小学生、中学生などの体験受入れです。

20番インターンシップ受入、21教職員異業種体験受入、22プレジョブ活動支援などは、それぞれ実施する方向でございましたが、申し込みがなかったものもありましたが、講師の派遣はまず、7月に読書相談員研修に1名派遣しております。

また、今月木更津第一小学校に、講師として2名派遣しており、次の小学生の職員体験学習ですが、11月に富来田小学校2名の受入れが、決まりました。中学生は今のところございません。

インターンシップ受入、大学生ですが、これも8月に1名受け入れております。

教職員とプレジョブ、この辺は、申し込みがございません。

次の23番の他機関連携援助は、引き続き連携しております。

24公民館図書室整備事業、これは通常通り進めております。

続いて25番れきおんミニコンサートですが、これも本来は7月ごろの実施ですが、9月まで延期としまして、9月の下旬に実施しております。内容としましては、NHK朝の連続テレビドラマの「エール」古閑裕而さんの歴史的音源のコンサートを実施しましたが、30名ほどの参加がありました。

続きまして26読書手帳作成配付事業27ブックリスト配付事業は、それぞれ配布済みで完了しております。

最後の、28文芸講演会ですが、これはメインイベントで、隔年でやる講演会なんです。一昨年、開催しましたので、今年度は、本来開催すべきところですが、このような状況ですので、中止とさせていただきます。来年度以降へ延期ということで考えております。

簡単でございますが、私からは以上でございます。よろしく願いいたします。

(桂議長)

説明がありました、ご質問、ご意見がありましたら。

中原委員、何かありますか。ご意見でも結構ですが。

(中原委員)

すいません遅れて申し訳ありませんでした。先日、木更津第一小学校の読み聞かせ、お世話になりました。どうもありがとうございました。講師の派遣でお世話になりました。

一つ質問してもよろしいですか。今ちょうど自分がいろいろ関わっているところですけども。

点字図書、録音図書、大活字本、マルチメディアデージー図書のところですけども、重点目標の中のこの(1)③番の中で、もしそういう方が、リクエストしたいと言ったときには、お願いすることは可能なのでしょうか。

ある書籍について、この本を読むようにしたい。点字で読むようにしたいと言ったときに、そういうリクエストっていうのは可能でしょうか。

(事務局)

点訳の会さんがいらっしゃいますので、そちらに依頼しましたりですとか、わいわい文庫の中にあればそちらで提供したりということもできますし、サピエ図書館の方の会員になっていますので、そちらでの対応もできます。また、「音訳の会しおさい」さんの方もお力添えいただけるかと思っておりますので、そのタイトルによるかなとは、タイトルによって、いずれかの方法で提供したいと思っておりますので、ぜひリクエストをよろしくお願いいたします。

(中原委員)

ありがとうございます。相談しながら可能ということですね。

(事務局)

はい。

(中原委員)

よろしく申し上げます。

(桂議長)

はい。村上さん

(村上委員)

音訳の会は、リクエストで。点訳の会は、点字ですけど。私たちはその、CDに録音して、個人的に、希望があれば、その要望に応じた活動は続けています。

今のお話で、今私たちがやっているのは、大人の方たちが対象で、個人的な希望者がその対象の本とか、何かそういうものを。印刷物ですとか、そういうのを提示していただければそれをやりますし、図書館に蔵書としてあるものであれば、それを使ったりもしますけど。今のお話ですと希望者はどういう。

(中原委員)

もし希望するとしたら小学生になるので児童書の希望になると思うのですけれども、今後、少しずつ読めるようになってきたと。受けるようになってきたときには、お願いできるのかなと思っています。

(村上委員)

それは、実際に障害のある方、全盲の方ですか。

(中原委員)

はい。

(村上委員)

そうですか。個人的に申し出があれば、そういうことは受け付けます。今まで、大人が対象だったので、今お聞きして、今後活動ができれば、お手伝いしたいなど。

(中原委員)

ありがとうございます。その節にはどうぞよろしく申し上げます。

(事務局)

市、こちらで、音訳の会しおさいという会で、やっておりますので、また、細かいことはいただければ、応じたいと思います。

(桂議長)

なるほど。

ありがとうございます。これ、図書館も把握されている内容なのですね。点訳じゃなくて、音訳の村上さんの方、そうですね。

(事務局)

はい。繋がりはあります。

お互いに連携をしながら、そうなりますね。図書館とも点訳の会さんとも、音訳の会さんとも連携して、提供していけたらと考えています。

(桂議長)

はい。よろしくお願いいたします。

その他、ご意見、質問等ありましたら。

中止・延期はありますけれども、それなりにかなりボリュームのある活動をされているのかなというふうに感じました。コロナ禍の中で、よくここまでやれるなというのが、率直な意見です。特に子供相手は大変じゃないかなと感じます。

他になければ、この事業計画については、以上とさせていただきますが、よろしいですか。

(各委員)

はい。

(桂議長)

それでは続きまして、議題の(2)、図書館の新型コロナウイルス感染防止対策について、事務局の方から、ご説明をお願いいたします。

(事務局)

それでは私から説明を、まず1点についてですが、資料の2をご覧ください。

新型コロナウイルス対策図書館の運営についてという資料でございます。

図書館では、6月3日に再度開館しましてから、まず、職員についてはマスクの着用、検温、手指消毒に努めさせていただいているところです。

カウンターにはビニールシートを設置し、飛沫感染についての対策をさせていただいています。

また、サーキュレーター(空気循環機)を窓口付近に二台。小型のものですが、設置して空気を循環させています。

ふき取りタオルですけれども、こちらは返却されてきた本につきまして、表面部分を、「イオンブライト」という図書館専用の清拭き用洗剤で拭いて、消毒を行っていきまして、使用したタオルについては、恵春庵の方にあります洗濯機などで洗濯し、天日で消毒というか、干したりということを行っていきまして、

続きまして、利用者の方についてですけれども、まず入口部分にマスクの着用をお願いする貼り紙と、咳エチケットについて、また手指消毒について、利用制限等につきましては30分程度でお願いしたいという旨の貼り紙を貼っています。

入口のところでは、整列をしていただきまして、入口にあるコロナ対策用のカウンターで、発熱等の診断を、現在のところだと、検温器で、離れた状態で、検温をさせていただいています。

そして、図書カードの提示、または、図書カードをお持ちでないという方につきましては、来館日時、氏名、連絡先電話番号などを書けるような「来館者カード」を用意しまして、そちらに記入していただき、回収箱へ投函の後に、館内へ入っていただいています。

体温測定については、後ほど説明がございますが、体温を自動で測定する、サーモグラフィーも導入するようになっています。

入口付近には、足踏み式のディスペンサーを導入しまして、消毒液での手指の消毒をお願いしています。館内に入られましてからは、現在資料の閲覧レファレンスを含めすべてのサービスを行っています。ただし、閲覧席は、減らさせていただき、また、一部の主催事業と自習室の使用は見合わせとさせていただいているところです。

10時半、14時、17時の1日に2、3回。巡回も兼ねて、消毒薬での殺菌ふき取り作業を行っています。カウンターやパソコンキーボード、ドアノブ、テーブル、椅子など、大勢の方が触るような可能性があるところを中心に、「マイペット」で拭き取りをしています。

また、換気につきましては、常時送風、の状態とさせていただいています。

こちらの消毒作業をする際などについては、館内の放送で案内させていただいています。

新型コロナウイルス対策の、図書館業務運営については、以上となります。

#### (事務局)

次に、資料3をご覧ください。

来館者人数です。図書館貸出人数についての資料です。

当図書館では、3月7日から4月8日まで、一部開館、フロア内には立ち入ることができず予約資料のみの貸し出しを行うという一部開館と、4月9日から5月26日までは完全に休館、5月27日から6月1日までは、3月に行っていたのと同じような予約の資料のみを貸し出しをする、一部開館を行いました。そこでこちらの資料3のように、貸出人数がなっております。令和元年度と2年度を比較しています。予約資料の貸し出しもせず、全く閉館していた4月と5月につきましては、9割減の、利用となっていました。6月3日開館後につきましては、6月は3割減。6・7月がやや3割減で、8・9月になりますと、2割以下まで減が減っている状態で大分、利用者の方が戻ってきているように思われます。以上です。

#### (桂議長)

はい。その他、説明がございましたね。

#### (事務局)

続きまして、私から説明いたします。本日配布資料の、6番から9番。写真のこの資料です。

1枚目がサーモグラフィ。2番目が足踏み式のディスペンサーということで、入口にあったと思います。

次に、3、4枚目が図書除菌機。5枚目以降が電子図書館サービスの資料ということになりますが、これらも新型コロナウイルス感染防止対策ですが、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金というのがございまして、それを活用した、図書館パワーアップ事業などとして、本年の6月、9月、10月の議会で補正予算に計上しまして、予算措置ができたものでございます。

予算の内訳などを申しますと、先ず、消毒剤購入、書籍を清拭きする薬剤です。後は入館時の手指の消毒剤。これらの購入が25万3千円。

次に、ブックスタート。事業休止期間の3月から6月分の郵送料などが33万7千円。

続いて、図書購入費。600万円増額です。

そもそも当初予算が1200万円でしたから、この600万円を合わせますと、今年度の図書購入費は1,800万円ということになります。現在、担当が苦心しながら選書しているところです。

また、入館者が自動で体温を測定できる、6番資料のサーモグラフィ。これが28万3千円。

手を直接触れることなく、手指消毒が可能な足踏み式のディスペンサー2万6千円。

次に、紫外線を当てて書籍を除菌できる、8番資料の図書除菌機。

これは本を同時に6冊入れることができまして、本の中まで消毒できる機能があります。これが132万円。

次が最後ですが、パソコンやタブレット端末を通じて、24時間来館しないで、電子書籍の利用ができる、9番資料のクラウド型電子図書館サービス&コンテンツ。これが506万円。

以上のとおり、予算を増額しましたので、今後、予算執行して参ります。私からは以上です。

#### (桂議長)

はい。ありがとうございました。

ただいま事務局の方より説明ありましたが、これらについてご質問、ご意見がございましたら、お願いいたします。

新型コロナウイルス対策ということで図書館の運営の中で、図書館の職員さんも仕事量が増えているんじゃないかなという気がして。はい。大変なところ本当にご苦労様で。

何かご意見・ご質問ございませんか。はい。村上さんどうぞ。

**(村上委員)**

資料の予算案とか、それは、どこを見ればいいのか。

今年度の事業計画の中に、今年度の書籍代とかいろいろ載ってましたけれども、その資料はないんですか。

**(事務局)**

予算については、報告書に元年度分は載っているんですが、今年度、2年度分は、確かに資料は、ございませんね。今後、改善いたします。

**(桂議長)**

第2回目の会議の時に出示してください。

**(事務局)**

今後は予算の額などについての資料をつける形を取りたいと思います。よろしくをお願いいたします。

**(桂議長)**

はい。村上さんよろしいでしょうか。

他になければ、私から。予算についてはもう執行されている。納品されたのは一つだけです。

**(森田館長)**

はい。サーモグラフィーにつきましては、公民館と一体で今、契約を進めているところで、これから11月の頭ぐらいには入札を執行する予定でございますので、早ければ今年中には、お目見えするかなというような状況でございます。

紫外線等で消毒をする除菌機につきましては、すでに入札を執行しまして、契約を締結しております。

ただ今、全国的にコロナ禍で大人気だそうで、在庫数がちょっとというところがありますので、今年いっぱいまでに納品をしていただくような形で今、落札した業者には、動いていただいているような状況でございます。

電子図書館サービスにつきましては、今後、契約をしてシステムの開発のあと、若干規則の改正等がございますので、こちらにつきましては、今年中に進めまして、来年早々には、皆さんにご利用いただけるような形で今準備を進めておるところでございます。

補正予算で四つ獲得しました事業の内容については以上でございます。

**(桂議長)**

ありがとうございます。また、次回、詳細がわかりましたら、ご報告いただければと思います。

**(事務局)**

はい。わかりました。

**(桂議長)**

他にございませんか。はい、寶剣さん、どうぞ。

**(寶剣委員)**

コロナ対策いろいろ取り組まれています。うちの大学とかだと、結構、ここにちょうど想定される問題と書いてあるんですが、実際にこういう対策を取られて、運用する中で、何かこういう問題が起きたというようなことは、今までのところでは、そういうトラブルみたいのはなかったんでしょうか。

**(事務局)**

そうですね、自習室が使えないのかという問い合わせが多くありました。或いは検温のことですとかマスク着用について、窓口の職員を振り払うという方とか、意見を言われる方もいらっしゃると思いますが、現在のところ、どうしても嫌だっという方は1名でした。マスクをお持ちでない場合には、

配布していますので、そちらをつけていただいて、中に入らせていただいているところです。ほとんどの方はご理解、ご協力いただいているようなところかなと思っています。

**(實劔委員)**

わかりました。ありがとうございました。

**(桂議長)**

いや、問題は、そうですね。

**(森田館長)**

補足で、先ほど1名の方が降り払ってっていう方だったんですけども、この方については、私、お話ししまして、ちょっと外へ出ていただいて、その後、お話ししてってというような形で収まったような方でございます。

あとマスクの着用とか検温で、ありがたいことに検温で37度5分以上いらっしゃった方が、今のところいなかったの、お断りをしなくて済んでいるというところがあるので、その分のトラブルもなかったというのと、あと館内の消毒です。閲覧席かなんかで新聞とか雑誌を読んでらっしゃる時に、我々行って拭いたり、作業するんですけど、比較的、利用者の方みんな温かく声をかけていただきまして、むしろねぎらいの言葉をかけてくださるような利用者の方が多いものですから、その点では、非常にコロナ対策は、やりやすくありがたいなというような状況ではあります。はい。以上です。

**(桂議長)**

ありがとうございます。30分を超えた人はいませんね。

**(森田館長)**

一応最初30分程度ということで設けたのは、万が一、非常に混雑をしまして密な状態があった場合に、館内の整理をするにあたって30分程度というのを一応設けてまして。

ですので、先に入ってらっしゃる方で混雑した場合、30分経ったので、次の方に譲ってくださいというような形で、30分以内というのを入れたんですが、幸いのところ皆様も、利用される時間も比較的承知されて、短めにするというような形があって、館内は混雑の状況がないので、実際問題30分以上いらっしゃる方はいたんですが、特にうちの方で整理をする必要がありませんでしたので、実際問題30分以内という制限をかけたケースは、ございませんでした。

**(桂議長)**

読書をする方は、悪い方はいないと思いますので。他になれば。

はい。中原さんどうぞ。

**(中原委員)**

細かいこと聞いて申し訳ないんですけど、図書除菌機、この機械は6冊。これはどれぐらいの時間で、これができる、利用した方が全部やるということですか。

**(森田館長)**

はい。利用方法につきましては、今、いっぺんに6冊で時間については、3、4分で済むってような。紫外線を照射するとともに、送風をして、中のほこりであるとか、そういった臭いなんかもとっていただけるという、すぐれものだというふうに聞いておるんですが、いかんせん、いっぺんに6冊しかできませんというところがございます。

今図書館の方では先程来、清拭きというような話をいたしたところですが、一旦、帰ってきた本については、イオンブライで清拭きしまして、さらに、通常であれば拭いて配架して、次の貸し出していう形なんですけど、今のところコロナウイルスが紙に付着すると一日で消滅するという、プラスチックだと3日とかっていう話が出て、これがどこまで信憑性があるかってところもあるんですが、そういった話を聞いてますので、丸一日、書庫で、放置しまして、それから配架をするという作業をとっております。

ですので、あと、館内で触られる図書につきましては、皆さん入口で手指消毒をしてから触られるということなので、基本的に館内で触った雑誌なんかについては、それほど心配はないのかなというのもありま

すので、基本的に返ってきた本をすべてこの機械を使ってというのは多分、時間的にも、人的にも不可能に近いので、そちらの方は想定してはおりません。

ただ、中には、より、今の対策で、多分、本を通じて感染をするっていうことはないのではないかなというふうには考えておるところですが、中にはやはり気になさる方もいらっしゃるので、出口付近あたりに設置、1階ですと洗面所の脇あたりに置いて、利用者が、自分でやるような形を想定しております。

そうすると、今まで対策はしているとは言っても心配な方は、自分でそれをやっていただければいいですし、この機械はそもそもコロナ対策の前から、あったような機械ですので、臭いとかそういったものについて、より綺麗好きな方はそれを利用することによって、なおかつ安心して利用できるんじゃないかと。というような形で活用していただければというふうには考えております。以上です。

**(桂議長)**

はい。意見はなさそうですので、それでは報告事項です。

**(事務局)**

はい。まず(1)の事項ですけれども、資料4の1ページをご覧ください。

点検評価の趣旨ですが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、「教育委員会は毎年その権限に属する主な事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果を議会に提出するとともに、公表する。」とされていますことから、図書館についても、毎年点検評価を実施しているところでございます。

図書館といたしましては、教育振興基本計画の基本目標でもございます、社会教育の推進を図るため、図書館サービスの充実の施策といたしまして、25ページをご覧ください。

(1) 地域の実情に即した図書館運営として、①から③の3項目。

27ページの、(2) 公民館図書室の充実として、2項目。(3) 学校との連携の強化として2項目。

28ページの(4) 魅力ある図書館事業の展開として、3項目の重点目標、施策の設定、自己評価をするとともに今後の方向性を示したところでございます。

4ページに戻っていただきます。

A B C Dの4段階評価で、各施策の評価は、Aの「目標どおり、または目標を上回る成果があがった施策」と、Bの「概ね目標どおりの成果があがった施策のいずれかで、図書館としては、このいずれかの結果となっております。この点検・評価につきましては、6月に開催されました教育委員会会議、及び市議会9月定例会で、報告させていただいております。

事後になりましたが、以上報告いたします。

**(事務局)**

続いて(2)木更津生涯学習推進協議会委員の推薦についてです。

この委員の推薦について、でございますが、2年間の任期満了に伴い、桂議長を引き続き推薦し、就任いただいております。

任期は、今年の4月1日から令和4年3月31日までの2年間でございます。

また、例年、生涯学習フェスティバル実行委員を高岡委員にお願いし、この会で選出しておりましたが、今年度は選出依頼がございませんでした。

新型コロナウイルスの関係で、資料の11番にあるんですか、「ONLINEオンライン×きさらづツナガルフェス2020」というチラシがあるんですが、これに置き換わったようです。

代替の事業ということで、オンラインのZ o o m形式で、開催されるようでございます。

なお、資料の最後にあります、映画の「おらおらでひとりいぐも」のチラシは、ご存知だと思いますが、図書館で平成30年度の文芸講演会講師として招いた、地元の作家である「若竹千佐子」さんの作品が映画化されたもので、11月から公開されるようでございます。以上報告いたします。

**(桂議長)**

この資料について、何かご質問ありますか。

ほとんどAですね。点字図書と公民館図書室の充実がBで概ねAですね。はい。白井さん、ご意見どうですか。

(白井委員)

高柳小学校です。学校との連携の強化というところで、本校の方でも、市の方からの読書週間の時に本を200冊お借りしていたりですとか、また、今年度小学校の方では、学校のコンピューター室のコンピューターの方が撤去されてしまうということで。そのあとGIGA計画というのがありまして、他にタブレットが入ることになっているんですけれども、それが何と2月にならないとタブレットが入らないということで、コンピューターの活用についてで、図書で調べる。本の冊数がないものですから、どうしても調べ活動はコンピューターを使うことになるんですけれども、それが撤去されてしまい2月まで調べ活動については、本に頼るしかないということで、調べ活動の方で、本校の6年生の方も、読書相談員の先生に集めて欲しいということ、今日、依頼をしていましたけれども、そういうことでまた本当は便利で、パソコンを使って絞って調べるのが本当に便利になってきましたけれども、それが無いということで、私たちが小さい頃にやっていた便覧を借りるですとか、本の中をみんなで調べて回すですとか、そういう活動になって、また、図書館の本の方もお借りするという形で、また、この方にも、ご協力いただくことになると思いますのでよろしくお願いします。以上です

(桂議長)

事務局、何か今の件で。

(事務局)

そうですね、年度当初お休みもありました。図書館の方が閉館していた時期がありましたので、子供たちにまた、本に親しんでもらえるということで大変ありがたいお話だと思っています。

また、コンピューターが入りましても、是非、本の方もよろしくお願いします。

(桂議長)

その他、ご質問、ございますでしょうか。須磨谷さん、何かご意見ありますか。

(須磨谷委員)

意見というよりも、お尋ねしたいのですけれども。この協議会の、委員というか、点訳と音訳と2年ごとにやっていると思うんですが、来年に点訳の「点字教室」をまたやるってお聞きしていますが。

(事務局)

その予定です。

(須磨谷委員)

私たち委員の任期はに二年間って伺っていますが、どういうふうに考えたらいいんですか。

(事務局)

ボランティア講座ですよ。それは、別に考えていただいてもいいと思います。今年やらなかつた分が来年になって、それと同時に来年になると、この委員が変わるってことですよ

(須磨谷委員)

そうですね。

(事務局)

点訳と音訳が二年毎に交代ですよ。それは、ここの委員としては二年間ですので、来年の6月末、そこで考えていただいて、ボランティア講座とは別に。それでいいかと考えています。

(須磨谷委員)

そうすると、もし来年交代するとすると、来年の人は、一年間だけやるってということになりますか。

(事務局)

ここの委員、この協議会の委員ですか。うまく調整してやってもらいたいのですが。

(桂議長)

いや、そんなもう一年でやめなくてもいいですよ。私なんかもう七年もやってますよ。

(事務局)

ずれが生じるということですね。このまま続けていただければ一番いいと思うんですが。

(桂議長)

すいません。そこはそちらの方にお任せします。無理強いはしませんから。

(須磨谷委員)

はい。

(桂議長)

ありがとうございます。

(村上委員)

すいません。ちょっといいですか。ボランティア講座のことをお聞きしたんじゃないんですか。委員のことですか。

(桂議長)

いや、委員も含めて。

(村上委員)

ボランティア講座は、今年やらなかった分は、来年、二年毎ですよ。

(森田館長)

はい、先ず、ボランティア講座の方なんですけど、今年度は中止になってしまうので、来年度に移るっていったときの考え方なんですけれども。先ず、一つの考え方とすれば、二年交代で交代していて、それに合わせて図書館協議会の委員も、それぞれの団体で出していただいて、連携をとっているというふうに、理解したんですが、そのとおりですよ。

これについては、ご相談しなきゃいけないんですけど、今年度一年分をそのまま、スライドして、例えば来年、再来年やっていただいて、次、移すという形をとるか、とりあえず今年度一年については残念ですけどなしで、来年一年間して、また交代していただくという考えとどちらかだと思うんです。

それで、それについては、またご相談で。やらないで二年間やってから交代したいっていう話になるのか、今年1年については、という形になるのかまたご相談させてください。

もし、今年度なかったんで、来年、再来年で二年やるとなると、図書館協議会の委員のタイミングとずれちゃうってことをご心配されているんですよ。

図書館協議会は、先ほど一応申し上げた通り図書館長の諮問機関ということで、一応皆様は、非常勤特別職の公務員の身分を有しているもので、任期については、きちんと定まっております。

ですので、もし、二年間、来年からやるとなると、来年で委員さんが交代になっちゃうので、一年やってまた次の年で、どちらが先でしたっけ。今、点訳さんで、点訳さんの方が、もしあれだったら委員さんを選んでおいていただくのが、今までの流れなんですけど、中途半端になるんで、場合によっては、やる時期と委員を、一緒にしたいということであれば、一年間で辞任していただいて交代していただくっていう手もございます。なんで、今、私の申し上げたことなんとなくわかりましたか。

(村上委員)

それは、こちらが相談で決めるってことですか。

(森田館長)

もちろん我々も一緒に入って。だから委員さん等の歩調を合わせるために、今年一年はちょっと残念でしたけど、来年一年間でまた、交代してもらおうとか、当初の予定の年数通りで交代していただければ、委員さんもその形で交代交代でやっていただくっていう形になりますし、いや、せっかくなんで二年やってきちんと変わりたいってことであれば、委員さんの任期のタイミングとずれちゃうんで。

委員さんの方については、リンクさせないという考え方もありますし、一年やってもらって、また辞任して、また再度選び直してっていうような形でやってもらってっていうような形もとれないことはないもので、そこはご相談させていただければ、それぞれの団体のやりやすい方法で選べると思いますので、都合のい

い方法でお願いをできればというふうに思います。

**(村上委員)**

今年度中に、今年はやらないわけですから、これが、とりあえず年度中に考えればいいという。今年度中でいいですね。

**(森田館長)**

来年に入ってからでも十分間に合うと思いますので。というのは来年一年は、そちらでやっていただいて、委員の任期はそこで変わるんですけど来年は。

**(事務局)**

はい。

**(森田館長)**

いう形なので、多分そこを委員さんの任期とは、リンクさせないほうがわかりやすいのかなというふうな気がしますけども、そこはご都合によってご相談はできますので。

**(村上委員)**

はい。わかりました。

**(事務局)**

よろしくお願いたします。

**(桂議長)**

はい。各委員会の中で揉めないように、よろしくお願いたします。

いろいろご意見いただきましたけれども、他にございますでしょうか。

なければ、令和2年度、今回最初の定例会っていうか、図書館協議会になりましたけれども、日頃感じられていること、木更津市の図書館のあり方とかですね。

今後の課題など、委員の皆さんのご意見があれば、伺いたいなというふうに思います。

特に、小中学校の校長会なんかは、小学校、中学校で、いろんな活動されていると思うんですけども、図書館との連携とか、そういった点について、先ほどの話は聞きましたけど。はい、白井さん。

**(白井委員)**

小学校は、私初めて来たものですから、中学校の教師でしたので、中学校の国語を受け持っていた時には、生徒たちが竹取物語の本物の原本を読みたいということで、それがなかなか無いもので、読書相談員の方に4市から集めてもらったことがあったんです。

読書相談員の方を通してできるっていうことは、授業で私がわざわざ探しに行かなくて済むっていうことで、大変助かったなというふうに思います。

事業のその一教員と、図書館とつなぐ役の読書相談員の方がいらっしゃるんで、その人と連携をしながら、そこを通じて図書館との繋がりということで、一事業者として大変助かりました。

**(桂議長)**

学校ボランティアですかね、読書相談員は。

**(白井委員)**

ボランティアさんは、またボランティアさんでいるんですけども。読書相談員の方はきちんと学校に配置された職員です。

**(桂議長)**

ボランティアさんも図書室の整理とかそのようなこと。ありがとうございます。

その他にご意見等ありますか。総合的に。あと、昨年度から事業計画の中にあるブックスタート事業は、かなり昨年、活発にやられていて。意見などは。では、事務局からお願いします。

**(事務局)**

はい。担当の石渡です。先ほど館長とか事務局の方からもお話がありましたけれども、今年度、ブックスタートやっている健診自体が、3月から6月まで見合わせになってしまったので、その間については郵送

をいたしました。

図書館だよりも、掲載をしたのですが、非常にうれしいお手紙もいただきまして、本を送ったところ、贈った先のご家族のお兄ちゃんとかが、その赤ちゃんに向けて本を読んで、「非常に心温まるひとときを過ごせました」というような、手紙がありまして、やってよかったなっていうのは、改めて思いました。7月に再開してからは、対面で読むことはしないで本を渡すだけなんですけど、このところ感染者も減ってきたということで、11月から、また読み聞かせを再開して、元通りの形で行いたいと思っています。ただ、やはり図書館でのおはなし会を今、まだやっていないので、そちらの方を楽しみにしているという声も結構聞くので、図書館の方でもおはなし会を再開してバックアップできるような体制が早く戻ってくるというなと思っています。以上です。

(桂議長)

ありがとうございました。特になければ。はいどうぞ。

(實剣委員)

さっきの補正予算でという話で、電子図書館サービスを導入するという話があったんですけど、これは今ブーム。ブームっていうか、うちの大学とかでもやっているんですけど、実は、大学とかはあんまりうまくいってないんですね。何でかっていうとやっぱりもう、紙で、本は紙で読む、見るものだという意識みたいのがすごくあってですね。抵抗。いや僕が実は図書館に何で入れるって言って、無理やりいろいろ少し入れているんですけど、それでもあんまりユーザーが増えていない。

いないので、ですから入れると、やっぱりきちんと電子書籍はこうでこう使うんですよっていうような、そういう啓蒙活動みたいのをしっかりやらないと、導入したけど利用者がさっぱりということにちょっとならないのかなっていう懸念があって、その辺のところ、木更津市の図書館としては、どんなふうにお考えになっているか、ちょっと一言聞かせていただきたい。

(桂議長)

事務局の方で。館長お願いします。はい。

(森田館長)

はい。今おっしゃられた通り、おそらくまだ、電子図書館サービスの方が、図書館サービスの主流になるっていうことは、もう10年20年ないんじゃないかなというふうに同じように考えております。

木更津市の図書館が電子図書館のサービスを今まで導入しなかった最大の要因としては、まだ出版業界もそれほど電子図書館サービスに対応できる電子書籍にそれほど力を入れていないという部分も感じられるところもありますし、コンテンツが、あまり揃っていないのかな、というところが一つあるかと思えます。

今契約をしようとしているのが、ランニングコストが大体月11万円程度かかる見込みでありまして、電子書籍については、もう著作権の期間が切れたいわゆる「青空文庫」と呼ばれるもの。こちらについては、確か2012年だったと思うんですけども経済産業省が行った、電子書籍のための事業で作られたもので、こちらについては、料金もかからずに一度に複数の人が見ることができるっていうような書籍以外には、ライセンスを我々の方で購入しなければいけないのと、そのライセンスが一回購入すると無期限で使えるというものが大体平均で4,400円ぐらいかかりまして、もう一つは二年ないしは52回。という、期限が決められたライセンスがこれが大体平均で3,000円程度かかるというような形になっているので、紙の書籍よりもやはり割高になってしまうということで、こちらを導入しても費用対効果の関係で、どうしても主流にならないどころか、あまり利用がないだけでなく、お金も掛かり過ぎるんじゃないかっていうところが懸念していたところの理由でございます。

ただ、今回はコロナの交付金を利用できるというような形になりましたので、思い切って導入したところですが、恐らく、利用者はそれほど多くないのではないかと、というのは、ご懸念通り私の方もそのように思っています。

ただ、コロナ禍における対策で、図書館に来なくても読書が楽しめるっていう方法であるとか、または、

コロナ禍が収まったとしても例えば高齢者対策の一環、「もう最近、字がちょっと読めないんだけど」っていう方が、電子書籍に馴染むかどうかは別としまして、字を拡大したり、または、音声サービスを利用するようなことができるようになったり。または交通弱者の方が、「図書館に行けないから本読めないけど、電子図書館が入ったんだから、それを楽しんでみようかしら」みたいな利用ということで、利用のコンテンツの幅を広げるというような観点で、やっていけば、こちらが主流になったりとか利用者がそんなに多くないっていうのは懸念してる場所ではあるんですけども、楽しみ方の方法が増えました、というような形でPRしていこうかなというふうには、考えておるところです。以上でございます。

(桂議長)

図書館としても電子書籍については、懸念があって。それについて対応をするために私たちも考えていきたいと思えます。皆さんよろしいでしょうか。實劔さんよろしいでしょうか。大学の方もなんか検討して、PRをしていただいて、電子書籍が使われるような方向にもって行っていただければと。

(實劔委員)

それで一言だけ。さっき言った電子書籍は、もう何年か前から入れ始めてやっぱりたくさんは入れられないんですよ、やっぱり。本1冊に印刷物と比較しちゃうと、大体倍ぐらい高いんですよ。ですけど、つい最近、今年度途中からですが、導入しようと思ってるのは、岩波が、サブスクリプションサービスってあって、岩波新書とか岩波文庫とかですね、ああいった類を全部電子化して出したんですね。それを今大学としては、何冊って選べるので、今100冊選んで、大学に入れようかなと思っています。だからそうすると、専門書だけじゃなくて身近な、普段関心があるようなことをちょっと読んでみようかなってということで、利用してもらえないかなと思っています。大学の方もそういう電子書籍とか一生懸命やっていきたいな考えています。

(桂議長)

貴重な意見をありがとうございました。

はい。他に何かございますか。無いければ、次回3月に協議会がございますので、それまでに、ご意見、ご質問等ありましたら、その都度、図書館に直接電話して聞いてもらっても構わないと思うんですけど。ぜひ、図書館のために寄せていただきたいなというふうに思います。

よろしいですかね、閉めても。他に事務局から何か報告がありますか。

(桂議長)

はい。森田館長。よろしくお願ひします。

(森田館長)

まだ具体化されてはいないんですけどもご承知の通り木更津の図書館大変、古うございまして、人口規模にも、蔵書数が見合わない37万冊程度なんですけど、千葉県の平均値よりやはり低いというような状況下にございます。

そのような状況下の中で、先般、これ6月に開催された総合教育会議の席上におきまして、市長の方から、「図書館のあり方についてを見直す時期に来ているのではないか」というような発言がありまして、それに伴いまして図書館、今ある施設も、これは耐震性の問題であるとか、いろいろな問題で、もう正直ガタが来ておりますので、今後新しい施設を建てることを含めまして、今検討する時期に入ってきているということで、今後、我々、現場サイドからすれば、是非とも新しい図書館を。それも面積が立派にあってですね。蔵書も60万冊ぐらい所蔵できるような図書館が欲しいというような希望を掲げておるところですが、何ぶん。

大変なお金がかかるようなものでございますので、ただそういった空気がようやく、市の中に出て参りましたので、新しい図書館のあり方について今後話が進んだ段階においては、委員の皆様にご報告を申し上げますとともに、また諮問というような形で、新しい図書館のあり方についてご意見を賜りたいというふうに考えておりますので、これは今後の話になるかと思いますが、そういった動きが出始めてきましたということで、報告とお願いでございます。以上でございます。

**(桂議長)**

いいお話ありがとうございます。ずっと私も長くやっていますが、「図書館を新しくください」って、館長に常に言っていました。地震が来てつぶれそうな図書館だと危ないので、ぜひ実現したらいいなというふうに思います。

最後になりますが、感染防止対策ということで可能な限り、利用者のニーズや課題を踏まえた対応をするためにですね、館としても、創意工夫を凝らして、運営や事業の開催に取り組んでいただいております。我々委員も利用者、住民の方々との日頃の交流をさらに深めて、お互いに知恵を出し合う中で、充実した図書館運営が展開できますよう、期待いたしております。今後ともどうぞよろしく願いいたします。皆様のご協力で本日の定例会、無事終了することができました。誠にありがとうございました。では、事務局の方にお渡しいたします。

**(事務局)**

それでは、長時間にわたりお疲れ様でした。

頂戴いたしました貴重なご意見などは、今後の業務の推進、発展に反映しながら、図書館を運営して参りますので、委員の皆様には、なお一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、令和2年度第1回図書館協議会を終了いたします。ありがとうございました。

議事録署名人 委 員 桂 啓之

委 員 寶劔純一郎